

長崎スタジアムシティプロジェクト<全体概要>

プロジェクトのポイント

- ・ **民間企業が事業主体**となりスタジアム・アリーナを含む複合開発を推進。外部専門家のサポートも活用。
- ・ 長崎県及び長崎市は、**協議会や検討推進チームを組成してプロジェクトをサポート**する体制を構築。
- ・ 有識者へのヒアリングや国内外のスタジアム・アリーナの先進事例の現地視察など**手厚い情報収集を行い、計画に反映**している。
- ・ スタジアム整備による**地域課題の解決などの周辺地域へもたらす経済的・社会的効果を検討**。

施設概要

所在地／アクセス	長崎県長崎市幸町／JR「長崎駅」徒歩約10分、JR「浦上駅」徒歩約10分		
面積	敷地	74,762.06㎡	延床 176,346㎡
構造	RC、S、SRC造 16階建		
観客席	スタジアム：約20,000席		
	アリーナ：約5,000席		
付帯施設	VIPルーム	あり（ホテル客室兼用）	
	飲食・物販	あり	
	その他	商業施設、オフィス、ホテル、駐車場など	
ホームチーム	スタジアム：「V・ファーレン長崎」（Jリーグ） アリーナ：「長崎ヴェルカ」（B3リーグ）		
スポーツ興行	・ Jリーグ公式戦 年間約25日 ・ バスケットボール公式戦 年間約30日 ※ホーム開催試合に加えて、アウェイ試合のパブリックビューイング実施検討中		
防災機能	災害時の一時避難所として検討中		

施設写真



外観



スタジアム



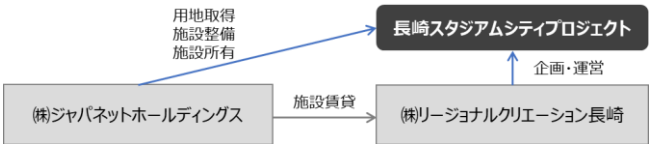
アリーナ

※本計画は構想段階のため今後デザイン含め変更の可能性があります。

事業概要

事業スキーム	(株)ジャパネットホールディングスが三菱重工幸町工場跡地を取得し、施設整備、土地建物を所有する。同社のグループ会社である(株)リージョナルクリエーション長崎が、維持管理・運営を行う。		
事業主体	(株)ジャパネットホールディングス、(株)リージョナルクリエーション長崎		
所有者	土地・建物：(株)ジャパネットホールディングス		
整備方法	(株)ジャパネットホールディングスが民間事業として整備		
管理・運営方	(株)リージョナルクリエーション長崎が維持管理・運営を行う		
事業期間	整備（予定）：2022年1月～2024年 夏頃（約2年）		
	運営・管理（予定）：2024年 夏頃		
事業収支	整備費	非公開	管理運営費 非公開
	利用料収入	非公開	その他収入 非公開
行政の役割・支援	・民間都市再生事業計画 認定事業 ・スタジアム・アリーナ改革推進事業（先進事例形成支援）		

スキーム図



長崎スタジアムシティプロジェクト<参考ポイント>

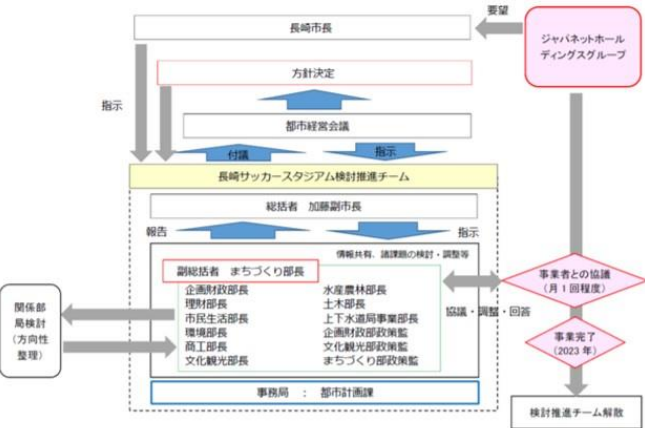
【参考ポイント①】ステークホルダー確認と検討・連携体制の整備

- 施設計画において**考える関係者を網羅**しており、具体的な計画の方向性も含めて十分に議論されている。
- 「**長崎スタジアムシティプロジェクト推進会議**」、「**長崎市サッカースタジアム検討推進チーム**」（下記体制図）が設置され、定期的に協議を行っており、**地方公共団体の各部署との連携体制**が構築されている。

<長崎市サッカースタジアム検討推進チーム体制図>

長崎市サッカースタジアム検討推進チーム体制図

長崎サッカースタジアム検討推進チーム ~ 検討の流れ ~



【参考ポイント②】スタジアム・アリーナ経営人材の活用

- スポーツ・地域創生事業を担う会社として(株)リージョナルクリエイション長崎を設立し、同社が企画運営を担っている。
- 設計、プロジェクトマネジメント、コンストラクションマネジメント等の各専門企業に業務委託**を行い、スタジアム・アリーナ整備に必要な検討ができる体制を整えている。
- アドバイザーとして、専門家（有識者）の助言やサポート**を受けている。
- 実施設計・施工者は、公募・入札により2021年4月に選定。

【参考ポイント③】運営・管理に係る検討

- 民間企業が推進する事業であり、民間活力が最大限生かされている。
- 世界の成功事例の**現地視察等の手厚い情報収集**を行い、検討。
- 施設利用者となる**スポーツチームや、音楽等のプロモーターなどにヒアリング**を実施。

【参考ポイント④】収益性の検証と設計等への反映

- スタジアム、アリーナ、商業施設、ホテル、オフィス等を備える複合施設であり、収益確保の方策を具体的に検討。
- 多目的に利用できるアリーナを計画し、**スポーツ興行、コンサート、イベント等多様な利用方法を具体的に想定し、収支計画を検討**。
- 利用団体等との意見交換結果を随時設計等に反映するなど、ハード・ソフト一体で検討。
- スタジアム整備による**地域課題の解決（雇用創出、集客、地域活性化）**など周辺地域へもたらす**経済的・社会的効果を検討**。

ビジネス面からの実現可能性の検証

VIPルーム兼ホテル宿泊部屋のテストルームを制作し、運用時の課題検討の他、現チームでのスポンサー営業時の活用も可能。

■試合時



・試合時は6人程度が最低食事できるテーブル設置
キャブス部分に観戦席
セキオ形式での食事提供を想定している。

■非試合時



・星部分にイベントが実施でき、観戦利用時は壁が引かれて出て、
「クラブハウス」による休憩など、
「スタジアム」に近まる「観戦」を最大化する
企画を検討中。
※デザインは変更となる可能性があります。

アリーナの稼働率を上げるための事業

アリーナの稼働率を上げるために、バスケットボールの試合日以外は、ディナーショーや音楽イベント利用を検討している。

